


枚方製造所

1. 事業概要

住所	〒573-8573 大阪府枚方市中宮大池1丁目1番1号	
従業員数	1,379名 (H29(2017).4.1現在)	
敷地面積	326,880 m ² (99,055坪)	
事業内容	素形材事業部門 : 研究開発／技術設計／製造 ポンプバルブ事業部門 : 研究開発／技術設計／製造／工事 建設機械事業部門 : 製造／営業 マテリアルセンター : 研究開発	

主要製品

			
MERT	ハイリフト型先行待機ポンプ	バタフライバルブ	ミニバックホー

工場変遷(沿革)

昭和37年	(1962)	ポンプ部門を枚方へ移転(枚方機械工場操業開始) 鋳鋼(素形材)部門を枚方へ移転(枚方鋳鋼工場操業開始)
昭和39年	(1964)	武庫川機械工場から枚方に総合機械工場を建設移転 バルブ部門を枚方機械工場へ移転
昭和47年	(1972)	枚方機械工場を枚方機械製造所に改称
昭和49年	(1974)	小型油圧ショベル製造開始
昭和54年	(1979)	大型ポンプ・建設機械専用工場完成
昭和59年	(1984)	枚方機械製造所・枚方鋳鋼工場・ハウス工場を統合し、枚方製造所となる
昭和61年	(1986)	ハウス部門を別会社化し、機械部門・鋳鋼部門の構成となる
平成 7年	(1995)	新素材開発部(現・素形材部門新素材課)を枚方製造所に移転
平成11年	(1999)	ISO14001認証取得
平成16年	(2004)	リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰 会長賞
平成17年	(2005)	ISO14001(2004年度版)へ移行 エネルギー管理優良工場(熱部門) 近畿経済産業局長表彰
平成19年	(2007)	ISO14001とOHSAS18001 マニュアル統合(OHSAS認証取得に伴う)
平成25年	(2013)	マテリアルセンターを枚方製造所に設置
平成29年	(2017)	ポンプ部門とバルブ部門が統合し、ポンプバルブ部門となる

枚方製造所

2.環境・安全衛生方針

環境・安全衛生 方針

基本理念

「優れた製品・技術・サービスを通じ、豊かで安定的な食料の生産、安心な水の供給と再生、快適な生活環境の創造に貢献し、地球と人の未来を支え続けます。」というミッションー私たちの使命ーに基づき、当製造所は環境保全と経済発展の調和をめざすと共に、「まずは安全、何より安全！」の認識の下、災害及び疾病の未然防止に取り組みます。

基本方針

1. 環境と労働安全衛生の統合マネジメントシステムを構築し、継続的改善に努めると共に、関連の法規制並びに当製造所が同意する協定等を遵守致します。
2. 製造所の製品、事業活動、及びそれらに関係するサービスの各段階における環境負荷の改善と環境汚染の予防に取り組みます。
3. 当製造所の経済活動と環境課題を並立させるテーマの計画的改善活動に努めます。
4. 危険有害要因の特定・評価に基づくリスク除去・低減対策を計画的に進め、すべての従業員並びに関係者の災害や疾病の未然防止に取り組みます。
5. 製造所の全域で快適な職場環境づくりをめざすと共に、全従業員の心身の健康づくりを推進します。
6. すべての従業員が環境・安全衛生に高い意識を持ち、自ら社会的責任を果たせるよう、継続的な教育訓練や啓発活動に努めます。
7. 地域社会、公的機関、お客様、従業員の家族などの利害関係者らと常に良好なコミュニケーションを維持します。

—— この方針は社内外に開示します ——

制定 1999年 3月15日
見直し 2016年 3月1日

株式会社クボタ 枚方製造所
製造所長 道林 悟

ISO14001認証取得状況

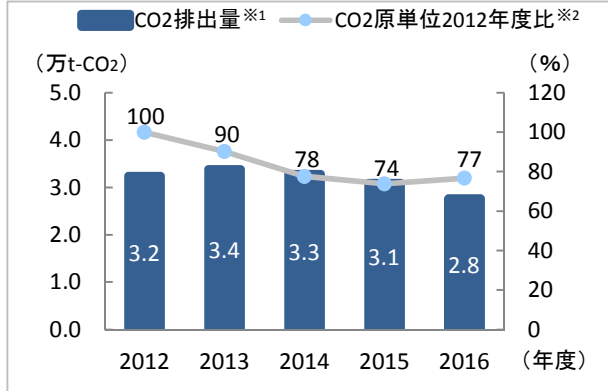
認証取得年月日:1999年9月17日
2004年度版更新年月日:2006年4月12日
審査登録機関:LRQA

枚方製造所

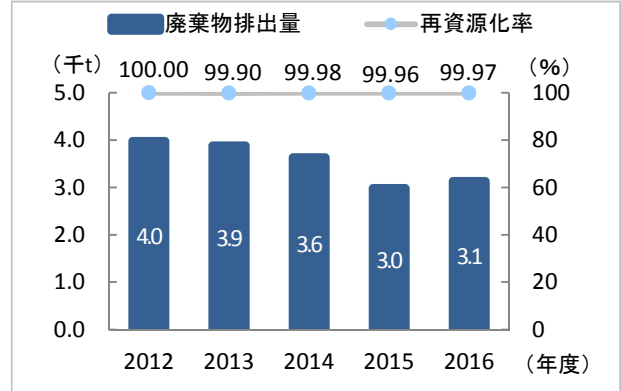
3.環境パフォーマンス

(1) 主要な環境指標の推移

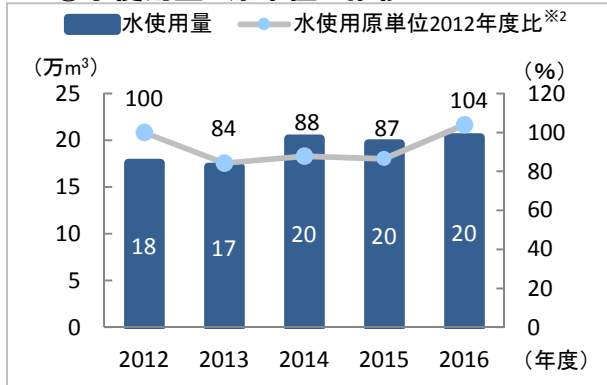
①CO₂排出量と原単位の推移



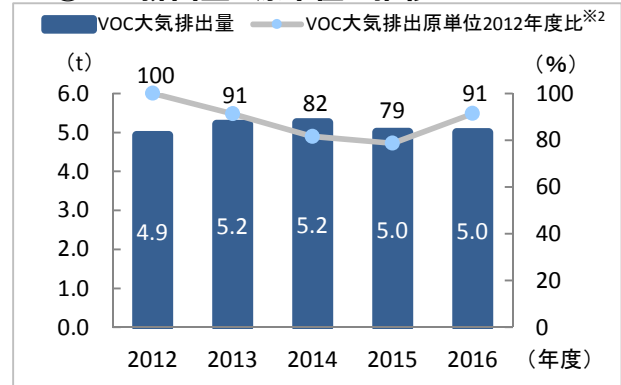
②廃棄物排出量と再資源化率の推移



③水使用量と原単位の推移



④VOC排出量と原単位の推移



※1 CO₂排出量はエネルギー起源のCO₂排出量です。エネルギー起源CO₂の算定において、電気の排出係数は各年度の値を使用します。

※2 2012年度における生産金額あたりの排出量(または使用量)を100とした場合の指数

※3 報告対象期間:2012-2015年度は4月1日から翌年3月31日の集計、2016年度は1月1日から12月31日の集計

(2) PRTR法対象物質集計結果(2016年1月~12月)

政令 No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
53	エチルベンゼン	1,594	0.0	0.0	0.0	0.0	15,865
80	キシレン	2,199	0.0	0.0	0.0	0.0	23,714
87	クロム及び3価クロム化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	324
132	コバルト及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	177	0.0	0.0	0.0	0.0	1,724
300	トルエン	1,029	0.0	0.0	0.0	0.0	13,790
308	ニッケル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.7
405	ほう素化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	29
412	マンガン及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	558
453	モリブデン及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※ 拠点ごとの年間取扱量が1t(特定第1種は0.5t)以上の物質について集計

枚方製造所

4.サイトデータ(2016年1月～12月の実績)

INPUT

エネルギー使用量	原油換算 kL	13,655
水使用量	万m ³	20.3

OUTPUT

エネルギー起源CO ₂ 排出量	t-CO ₂	27,586
----------------------------	-------------------	--------

排出ガス	主要ばい煙発生施設		No.3焼鈍炉			No.5焼鈍炉			建機吹付塗装脱臭装置		
	項目	単位	規制内容	規制値	測定値	規制内容	規制値	測定値	規制内容	規制値	測定値
SOx	—		※硫黄分ゼロの都市ガス使用			※硫黄分ゼロの都市ガス使用			※硫黄分ゼロの都市ガス使用		
NOx	m ³ N/h		総量規制	1.189	0.042	総量規制	1.313	0.055	総量規制	1.305	0.064
	ppm		濃度規制	180	50	濃度規制	180	35	濃度規制	230	26
ばいじん	g/m ³ N		濃度規制	0.1	0.005	濃度規制	0.1	0.005	濃度規制	0.10	0.005

排水量	公共用水域	万m ³	22.2
	下水道	万m ³	—
汚濁負荷量	COD	kg/年	643
	窒素	kg/年	754
	りん	kg/年	79

※排水量には雨水が含まれています。

排水	放流先	項目	単位	B排水口	
				規制値	測定値
公共用水域		pH	最小値、最大値	5.8～8.6	6.6, 7.5
		BOD	mg/ℓ	25	8
		COD	mg/ℓ	25	7
		窒素	mg/ℓ	120	4
		りん	mg/ℓ	16	ND
		六価クロム	mg/ℓ	0.05	ND
		鉛	mg/ℓ	0.01	ND
		COD総量規制	kg/日	37.59	2.55
		窒素総量規制	kg/日	38.30	3.17
		りん総量規制	kg/日	4.41	0.24
下水道		pH	最小値、最大値	—	—
		BOD	mg/ℓ	—	—
		COD	mg/ℓ	—	—
		SS	mg/ℓ	—	—

廃棄物排出量	t	3,133
再資源化率	%	99.97

VOC排出量	t	5
--------	---	---

枚方製造所

5.環境トピックス

・エネルギー使用データ収集システムの構築及びムダエネルギー削減

建設機械製造部では、CO₂排出量のうち約323t-CO₂/年をムダに排出させてしまっていると考えており、ムダ発見のためのシステムの確立を進めています。

ムダなエネルギーを抽出するために、まずは電力使用量のデータを詳細に把握できる機器の導入を進め、電力使用状況の分析を行いました。

その結果、空調設備の一部を休止できることが分かり、昨年のCO₂排出量を前年に比べて約20t-CO₂/年削減することが出来ました。

今年は、ガス使用量の詳細データも収集し、電力使用量と合わせてムダなエネルギー使用の分析を進めて、運用改善を行い、省エネ機器の導入と併せて、約323t-CO₂/年のCO₂排出量削減を実現する予定です。

6.環境コミュニケーション

地域美化活動など

2016年 1月 他2回	製造所周辺清掃活動	141人
2016年 8月 4日	「クールダウンひらかた打ち水大作戦」	5人
2016年 10月 15日	クボタeデー及び地域クボタ会ボランティア&ウォーク	479人



打ち水大作戦



クボタeデー